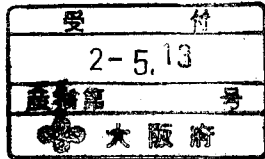


(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和2年5月13日

大阪府知事 殿



提出者

住 所 大阪府羽曳野市広瀬161

氏 名 山崎製パン(株)阪南工場

工場長 南條 政光

電話番号 072-956-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	山崎製パン(株)阪南工場
事業場の所在地	大阪府羽曳野市広瀬161
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	09：食料品製造業
②事業の規模	110億
③従業員数	367名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(31年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	排水処理汚泥
	排出量	263 t	776 t
	(これまでに実施した取組) 排水処理汚泥については、節水及び油脂等の残渣物を排水に流さない等のパトロールを継続実施中。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	排水処理汚泥
	排出量	250 t	698 t
	(今後実施する予定の取組) 前年度各廃棄物発生抑制の取り組みを引き続き継続します。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック(包材ロス等)を発生段階で分別をして、リサイクル業者へ原料として売却している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の活動を更に推進していく。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

蛍光灯			
0.3 t	t	t	t

②計画

蛍光灯			
0.3 t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 取り組み予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	664 t	t
(これまでに実施した取組) 従業員に対する節水、油脂等を排水に流さない等の活動の推進と脱水行程を行い減量しています。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	597 t	t
(今後実施する予定の取組) 前年実施事項の更なる推進			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(31年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 取り組み予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(31年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	排水処理汚泥
	全処理委託量	263 t	113 t
	優良認定処理業者への処理委託量	140 t	113 t
	再生利用業者への処理委託量	3 t	113 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	260 t	t
	(これまでに実施した取組) 従業員に対する節水・分別活動の推進と優良認定業者を選定しました。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

蛍光灯			
0.3 t	t	t	t
t	t	t	t
0.3 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	排水処理汚泥
	全処理委託量	250 t	101 t
	優良認定処理業者への処理委託量	128 t	101 t
	再生利用業者への処理委託量	4 t	101 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	246 t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>排水処理汚泥については、節水、廃プラスチックにつきましては、排出時の分別を徹底し、リサイクルを推進しています。また優良認定業者を選定していきます。</p>			
※事務処理欄			

②計画

蛍光灯			
0.3 t	t	t	t
t	t	t	t
0.3 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

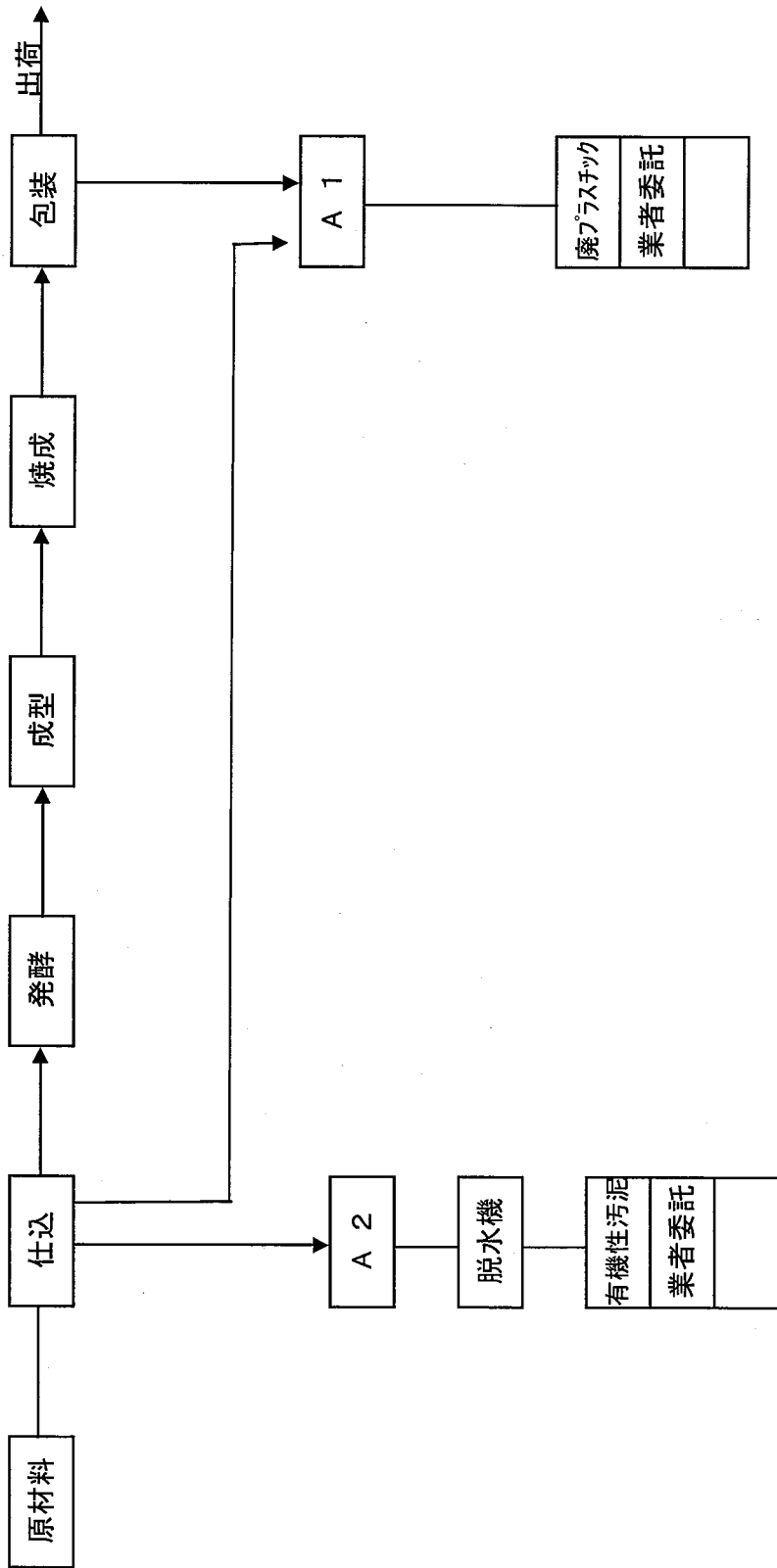
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

備考

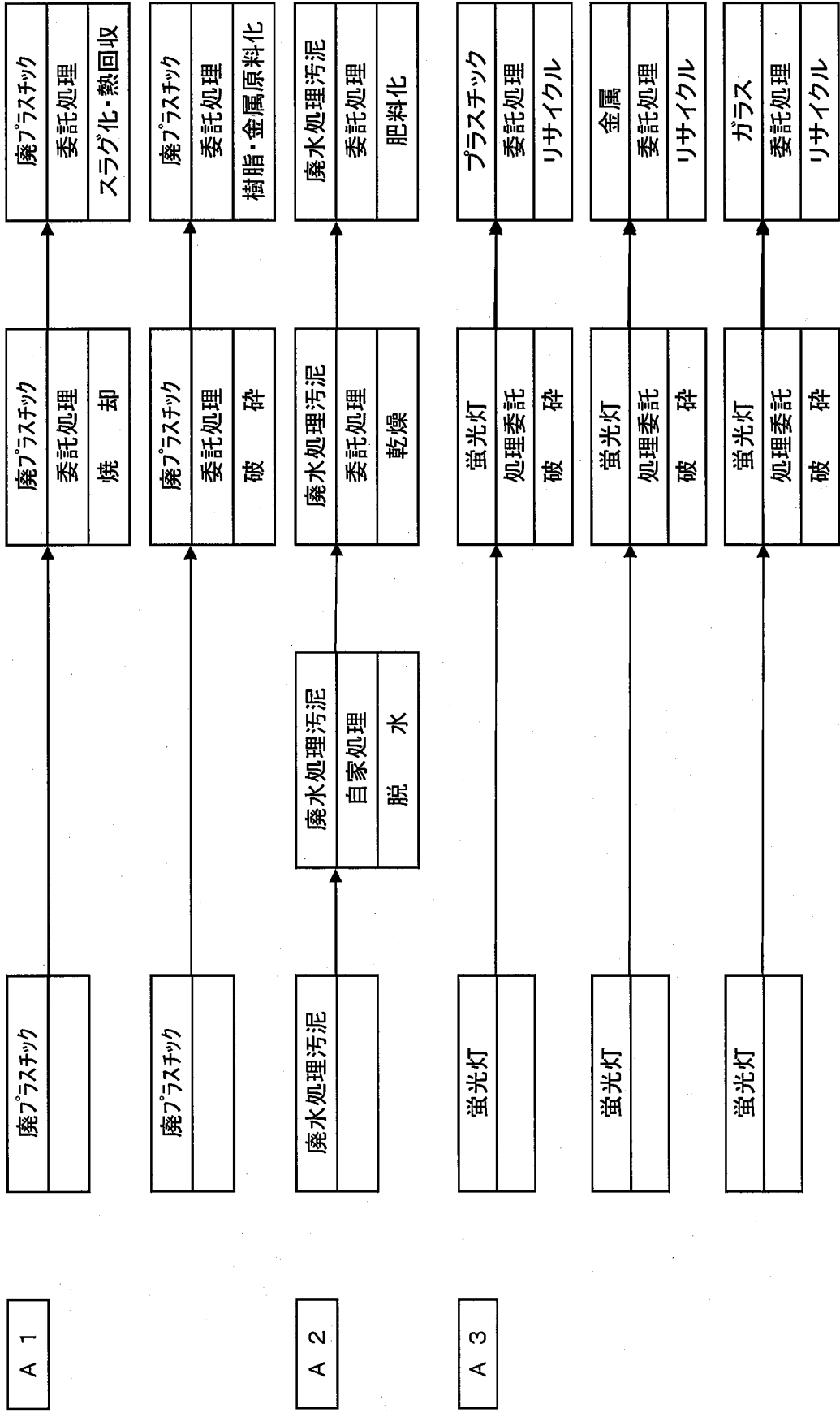
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

廃棄物発生工程フローシート

パン製造工程

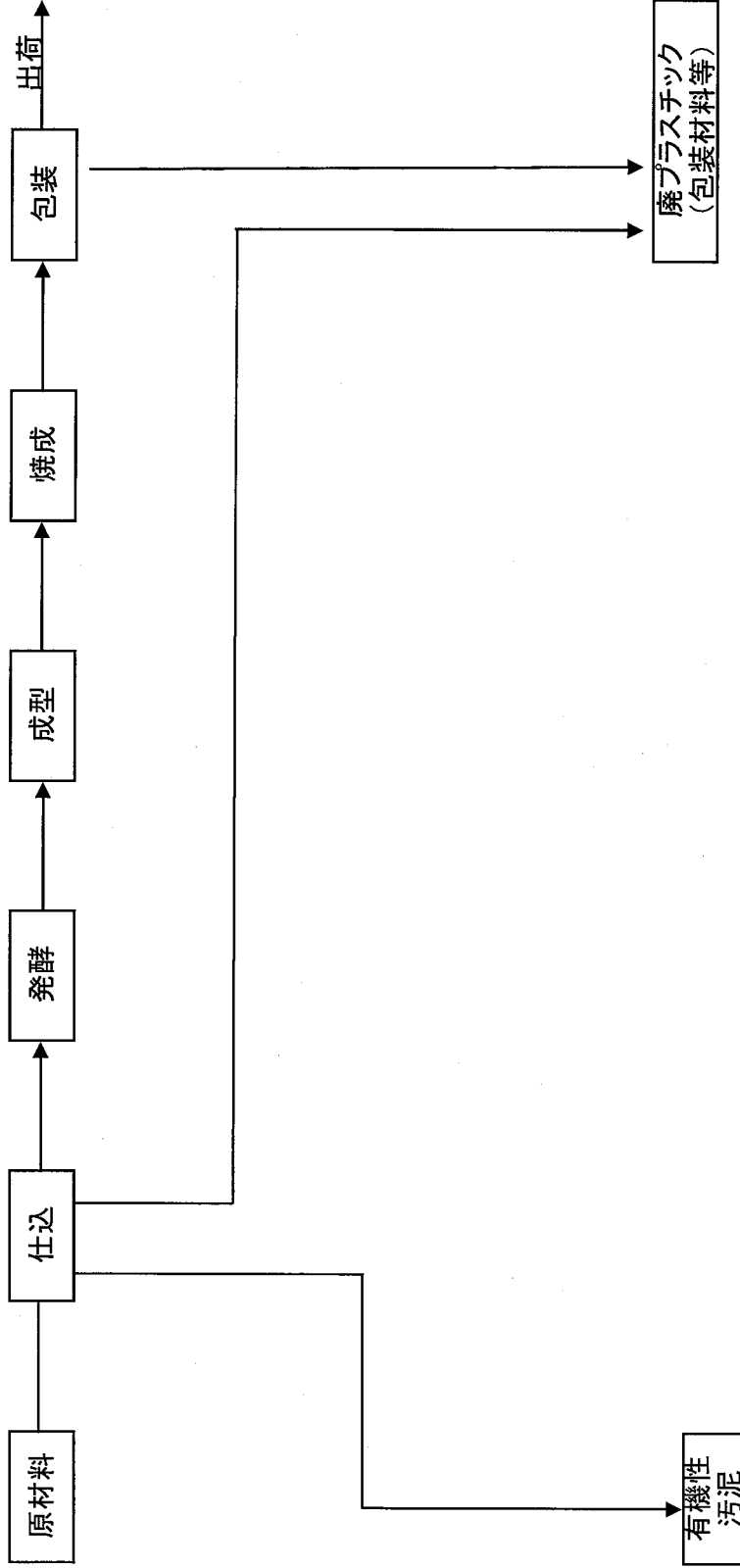


処理工程フローシート

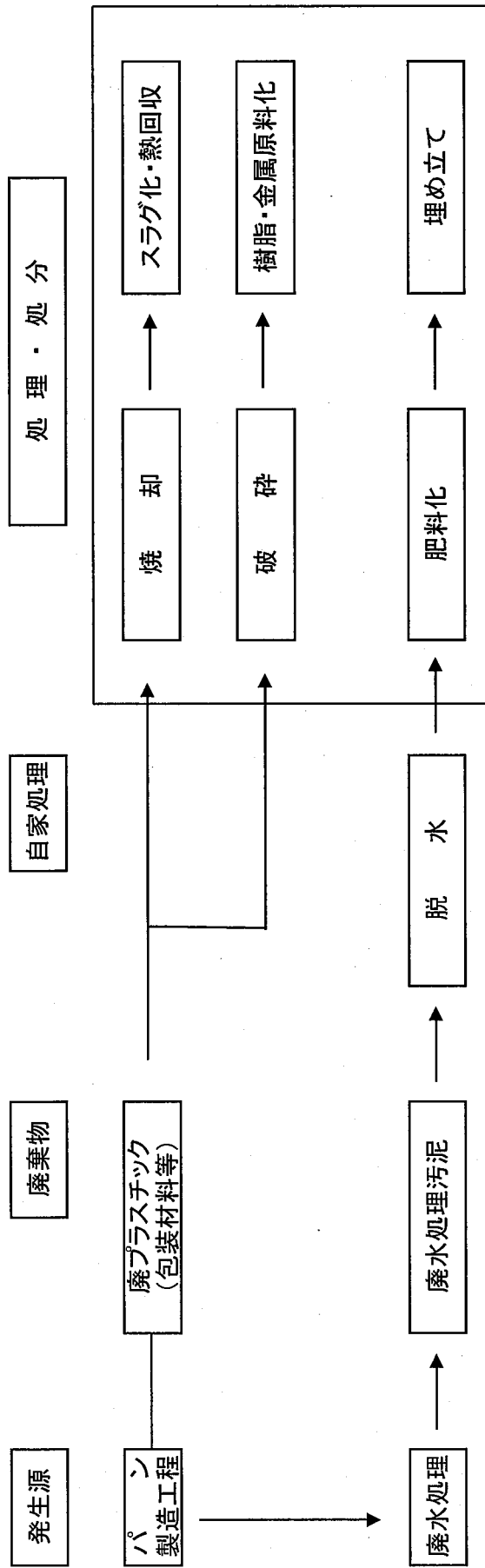


廃棄物発生工程フローシート

パン製造工程



処理工程フローシート



阪南工場 廃棄物管理組織図

2020年4月1日現在

